



まちづくりニュース 第2号

藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会

事業化検討パートナーが決定しました!

準備会では、事業計画書の作成等の専門知識や土地区画整理事業の経験を有する企業等と共に事業を推進することが必要と考え事業化検討パートナーを募集し、4者から事業提案書が提出されました。その後、事業提案書の内容及び提案者からのプレゼンテーションによる審査会を実施し、新たな都市拠点にふさわしい環境共生型の拠点形成としたコンセプト、隣接する慶應義塾大学との連携、周辺の農地や豊かな自然などの地域資源を生かしたまちづくりなどの提案について、まちづくりの実現性が総じて高いと評価し、第2回総会での承認を経て、次のおり事業化検討パートナーを選定しました。その後、準備会と事業化検討パートナーは、事業化に向けた取組に関する覚書を2020年(令和2年)12月21日に締結しました。

「事業化検討パートナー」

代表構成員 三菱地所レジデンス株式会社

構成員 三菱地所株式会社、株式会社フジタ

※提案については、事業化検討パートナーが、募集時に提案した内容であり、今後、この提案をもとに準備会とパートナーなどが連携して検討を行っていくため、変更する可能性があります。

(参考：提案概要)

○まちづくりコンセプト

<まちづくりコンセプト>

『FUJISAWA LIFE INNOVATION BASE』

～藤沢市の新たな拠点として無限の可能性を創出し未来へ向けた新しいまちづくりの実現を目指します～

○大学や農地などの地域資源を活かし、新しいライフスタイルの確立、未来に向けて活力あふれる藤沢市の新しい都市拠点の形成を図るための土地利用として5つのゾーンを設定

産業系ゾーン	～地域の活力を生む新産業拠点～
商業系ゾーン	～生活利便性・楽しみと健康を提供～
農業系ゾーン	～農に携わる、農を親しむ環境整備～
中高層住宅ゾーン	～多種多様な都市型住宅を整備～
低層住宅ゾーン	～緑あふれる良好な低層住宅整備～



第2回総会

- 開催日時：2020年(令和2年)12月6日(日)
- 開催場所：遠藤市民センター 3階ホール
- 承認事項：事業化検討パートナーについて



いずみ野線延伸の早期実現についての要望書を提出しました！

準備会では、相鉄いずみ野線の延伸が本地区の事業化に大きな影響を与えることから、神奈川県と藤沢市に対し、いずみ野線延伸の早期実現に向けた要望書を2020年(令和2年)11月4日に提出いたしました。神奈川県及び藤沢市への要望と回答は、それぞれ次のとおりです。

〈神奈川県への要望内容〉

- 1 いずみ野線延伸の計画の早期実施の措置を講じられたい
- 2 事業計画区域内を走行する鉄道敷位置・幅員を提示されたい
- 3 新駅（B駅まで）開業の目標時期を提示されたい

小坂橋副知事（写真左）に提出

〈神奈川県の回答（抜粋）〉

相鉄いずみ野線の延伸事業は、大変重要な路線と認識しています。県では、まずは湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までの区間を実現するため、地元の市町や鉄道事業者などで構成される「いずみ野線延伸検討協議会」において事業採算性の確保に向けて検討しています。土地区画整理の事業計画を進めていくための技術的な相談には、今後も協力してまいりますので、藤沢市を通じてご相談いただくようお願いします。



〈藤沢市への要望内容〉

- 1 いずみ野線延伸の計画の早期実施の措置を講じられたい
- 2 まちの発展やいずみ野線の延伸につながる交通の充実について検討されたい

〈藤沢市の回答（抜粋）〉

1 いずみ野線延伸は、本市にとって必要かつ重要な事業であり、毎年神奈川県に対し、早期実現に向け、鉄道延伸及びまちづくりの検討の深度化について、本市と協働した取組の要望等を行い、鉄道延伸を促進するとともに、周辺のまちづくりを推進してきております。本市としては、今後とも新駅周辺のまちづくりにより、新たな需要が創出されるような取組を継続して推進していき、いずみ野線延伸の早期実現に向けて、神奈川県や関係団体と協働して取り組んでまいります。

宮治副市長（写真左）に提出



2 新たに創出される交通需要への対応を含め、都市拠点としての交通機能の強化に向けて、公共交通や自動車、自転車、歩行者が安全に回遊できる交通環境の再編の検討に取り組んでまいります。

■ご意見・お問合せは、準備会事務局までお願いします

藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会事務局

連絡先：藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所（担当：相良、瀧澤）

電話 ☎ 0466 (46) 5162